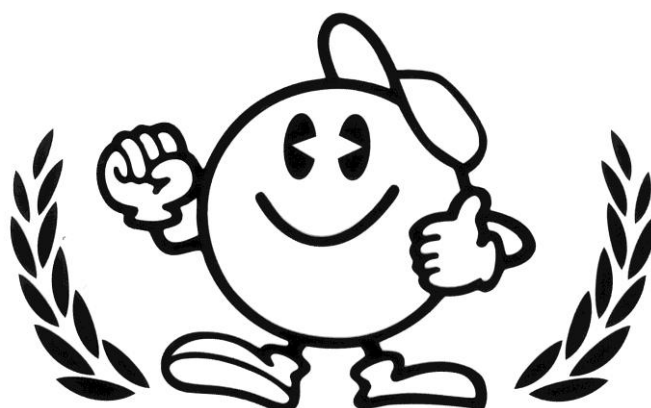


ドッジボールにおける運動特性と指導法の研究

調査研究報告書



J.D.B.A.[®]
JAPAN DODGE BALL ASSOCIATION

一般財団法人 日本ドッジボール協会



スポーツ振興くじ助成事業

目 次

調査の概要・調査方法	2 ページ
チーム代表者に対する調査	3 ページ～5 ページ
選手の保護者に対する調査	6 ページ～13 ページ
チーム指導者に対する調査	14 ページ～20 ページ
体力テストの集計結果	21 ページ
小学生選手に対する調査	22 ページ～23 ページ
総括	24 ページ～25 ページ

調査概要・調査方法

1、 調査の目的

一般財団法人日本ドッジボール協会(以下、当協会)は1991年の設立から20年が経過した。さらに競技カテゴリーをスポーツとしてのドッジボール(D1、D1G)とレクリエーション、コミュニケーションとしてのドッジボール(D2、D3)に分類した中で、近年、多くのチーム関係者より、全国大会で活躍するチームから指導方法やチーム運営について学びたいという要望や、ドッジボールを普及するうえで競技の特性や優位性に関する問い合わせを受けることが多くなってきた。

併せて、当協会設立20周年という節目の年に、ドッジボールという競技を通して選手である子どもたちがどのように育ってきたかを検証し、当協会が掲げる未来構想「JDBA NEXT10」への参考とすべく、この調査を実施するものである。

2、 調査対象

第2回全国女子ドッジボール選手権全国大会に出場した各都府県代表 31 チーム

第21回全国ドッジボール選手権全国大会に出場した各都道府県代表 48 チーム

上記チームの代表者、保護者代表、指導者代表、及び登録選手全員

3、 調査方法

質問紙を各チーム宛に発送し、回答を依頼。回答は送付した回答用紙の返送、及びインターネットの専用フォームで行った。但し、登録選手向けの質問は数値の記入箇所が多いことから、入力ミスを防ぐために回答用紙返送のみとした。なお、同一者の複数回答や不正回答を防止する観点から回答にはチーム登録番号の記載を必須とした。

4、 調査期間

2011年11月10日より2011年11月30日まで

チーム代表者に対する調査

質問1 団体の設立年

1992	1993	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
3	1	1	3	4	1	2	3	1	2	2	3	3	1	1	1	5	4
19									22								

10年以上活動している、いわゆる古豪のチームが半数ある中、4分の1はこの3年で誕生した新しいチームであり、新規のチームでも全国大会出場のチャンスがある。

質問2-1 設立当初の団体の構成を教えてください。

個人・団体が設立したクラブ	21	51.22%
学校・学級	11	26.83%
スポーツ少年団	5	12.20%
子供会	4	9.76%

質問2-2 現在の団体の構成を教えてください。

個人・団体が設立したクラブ	23	56.10%
スポーツ少年団	11	26.83%
学校・学級	5	12.20%
子供会	2	4.88%

個人や団体が設立する割合が半数を超えている。本協会の設立当初は学校・学級がチームを設立する割合が高かったことから、20年の間で大きく変化をしてきている。

また、2つの調査から学校・学級から個人・団体へ運営組織が変容していることも伺える。

質問3 保護者会を結成していますか。

有	65.85%
無	34.15%

質問4 運営資金の拠出方法を教えてください。(複数回答)

会員からの会費	85.37%
個人・団体の寄付金	14.63%
団体等の助成金	14.63%
公的補助金	9.76%
その他	4.88%

運営資金のほとんどが会員からの会費(クラブ費)であるが、ブロック大会や全国大会だけでなく、県外遠征をする機会も多いことから、会員の負担軽減になるよう、寄付金や助成金で賄っているチームもあり、団体を運営するために工夫をしている様子が見られる。

質問5 指導者(監督・コーチ・マネージャー)の人数(日本協会登録以外も含む)

1チーム平均 6.52 人	男性 4.78 人
	女性 1.74 人

競技規則上ベンチに入ることのできる指導者は3名までであるが、ジュニアチームの育成など、練習ではそれ以上の人が選手の指導に当たっている。

質問6 指導者の決定方法を教えてください。

指導者が選任	35.14%
代表者が選任	32.43%
代表者・指導者が選任	10.81%
指導者・保護者が選任	8.11%
代表者・指導者・保護者が選任	8.11%
保護者が選任	2.70%
代表者・保護者が選任	2.70%

現役の指導者が新しい指導者決定に関わっている割合は、合わせて6割を超えている。練習を指導している場面で様子を見に来ていた保護者やOB・OGに声を掛けていると推察できる。

質問7 運営に関する悩みや課題がありましたらお書きください。

所属都道府県	チーム代表者の回答(原文)
北海道	部員の確保がむずかしい。
青森県	以前に比べると子供が集まらなくなっています。 また、県内のチーム数が減り遠征しなければ試合を経験できなくなっています。 少子化も原因ですが、ドッジボールを全国的に盛り上げる努力も必要と考えます。
岩手県	岩手県内の寄せ集めチームのため単独チームの練習ができない。
岩手県	年会費が少額(3,500円)なので遠征のときは個人負担が大きくなる 学校の補助もあるが、大会が多いと参加費が大変(個々人に集金することになる) 全国大会出場に際しては寄付金を各方面にお願いした。
山形県	監督の後継者がいません
福島県	女子チームを単独で構成するのは困難。 現在友好5チームから所属している女子全員を集合させて参加しているのが正直なところ。 活動経費のねん出、練習場所時間等混成ゆえの課題です。 ドッジ人口の減少
福井県	家庭の事情や考え方の違いがあるため、仕方がない部分もありますが、一部の人に負担が掛かってしまうこと。
長野県	年々入会する児童数が減少し、チームの継続が難しい (テレビ放映等でドッジボールの魅力をアピールして頂きたい) 大会参加費が毎年上がり、保護者への負担が大きくなってきている (当県ではチーム数の減少に伴い、会場費や冷暖房費等の負担が大きい) ボールの改良に伴い柔らかくなった反面、突き指や骨折が増えた (柔らかいことで指離れが悪いような気がします。)
長野県	人数が増えるとその分いろいろな考え方があり、皆をまとめるということが難しいです。 大会参加費が上がり、参加する時大変になった事。 D1やD2と色々難しい言葉が増え理解するのが大変です。
滋賀県	年々選手人数が不足してきています。

京都府	学校の延長戦上で活動していると勘違いしている保護者とのギャップ(クラブとしての運営の理解が得られない保護者が最近多くなって来ている)
和歌山県	学校内のクラブであるため、保護者の意識が低く、なかなか協力してもらえない。保護者会も結成できず、運営資金なども無に等しい。
岡山県	大会費用等の金額
香川県	指導者や審判資格者の育成について保護者の協力者が少ないところ。
愛媛県	スポーツ少年団への参加人数が減少しているため部員の確保が厳しくなっている。 登録にもお金がかかるため負担も増加している。
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ① 国、九州大会出場の費用が、倶楽部及び自己負担であること ② 少子化やサッカー等のメジャースポーツの人気で、部員確保が厳しい ③ チームから県、県から全国、また、その逆のコミュニケーションが取りにくい ④ 主審、副審、線審で6名体制では、瞬間的なジャッジに限界がある様に思える ⑤ 判定が、デジタル的ではなく、個人スキルの判断が多いよう思え ⑥ 今のルールは、攻撃に有利と思える(パス消しのジャッジなど) ⑦ 夏の全国大会で、メダルを掛けたベスト8の準々決勝戦が、1セットでなく3セットにして欲しい ⑧ 全国大会で、予選で同じブロック同士が対戦しないようにして欲しい。
熊本県	チーム運営 15 年になるが、年をおうごとに子供たちの体力および精神的強さが低下している。

多くの団体から共通して出てくる言葉は「人数不足」「費用面の負担」ということである。進行し続けていく少子化の中で、団体内の人数減少(部員不足)と団体外の人減少(チーム数減少)により、一人当たりに掛かる費用負担や練習試合を行うために遠距離の移動が必要になることでの費用負担が表れていると推測できる。
このことから、今後は1地域複数チームを目標に普及活動を展開する必要がある。

質問8 年間のチーム運営費(遠征費等大会出場に伴う費用なども含む)の概算
1チーム平均 970 千円

選手の保護者に対する調査

質問1-2 保護者会の世帯数

1チーム平均 18.77 世帯

質問1-3 保護者会の運営に関する悩みや課題がありましたらお書きください。

所属都道府県	チーム保護者の回答(原文)
石川県	部員不足(チーム存続の危機) 資金不足
長野県	・チーム運営に関する経費(月の会費等)が大きな負担となっている家庭がある。 ・各保護者のドッジボールに対する意識に温度差があり、上記の運営経費に関する話や行事に対して、協力または参加してもらえない家庭もある。
長野県	保護者との考え方の相違の際にどう対応するか。 全てにおいて、会長責任となってしまう、どうして良いか分からなくなる時があります。
愛知県	それぞれの家庭事情により関わり方に温度差がある事
山口県	いろいろな地区から集まっているため、考えも思いも違い、話がまとまらない事もある。
香川県	金銭のやりくり 部員集め
高知県	各家庭の背景を把握し、各保護者の考えも交えながら運営していくことが大変だと感じます。
長崎県	①保護者の当番を平等に調整することが大変です。 ②夏の全国、春の九州大会、春の全国などの公式大会三参加で発生する費用が、全て倶楽部、個人負担となるので、公式大会だけでも軽減を御願いたい。 ③質問3は、全国大会、九州大会を除いた運営費です。全国、九州を含めると一人200千円となり、悩み事です

チーム代表の回答と同様に「人数不足」「費用負担」という言葉が並び中、「各家庭による考え方の違い」という言葉が目立っている。考え方の食い違いから退部せざるを得なくなるといったケースも現実的に存在することから、保護者会の役割はとて大きく、保護者代表の苦労も大きい。

質問2 お子さんがドッジボールにかかわって良くなったと思うことは何ですか。

(態度、生活面および運動能力、体力面)

都道府県	態度面、生活面	運動能力、体力面
北海道	礼儀正しくなった,食事の量が増えた,学習との両立ができるようになった,積極的になった,責任感が増した,友達が増えた,思いやりの気持ちが芽生えた	疲れにくくなった,体格が向上した,力強さが増した,すばしっこさが出てきた
青森県	規則正しい生活ができるようになった,明るい性格になった,元気に過ごすようになった,食事の量が増えた,積極的になった,友達が増えた,思いやりの気持ちが芽生えた	疲れにくくなった,体格が向上した,力強さが増した,すばしっこさが出てきた
岩手県	明るい性格になった,元気に過ごすようになった,食事の量が増えた,偏食が減った,自分のことができるようになった,学習との両立ができるようになった,積極的になった,友達が増えた,思いやりの気持ちが芽生えた,粘り強さが出てきた	病気やけがが減った,疲れにくくなった,体格が向上した,力強さが増した,足が速くなった
岩手県	明るい性格になった,元気に過ごすようになった,食事の量が増えた,偏食が減った,学習との両立ができるようになった,積極的になった,責任感が増した,友達が増えた,思いやりの気持ちが芽生えた,粘り強さが出てきた	体が柔らかくなった
秋田県	元気に過ごすようになった,食事の量が増えた,学習との両立ができるようになった,粘り強さが出てきた	体格が向上した,力強さが増した,足が速くなった
山形県	礼儀正しくなった,規則正しい生活ができるようになった,明るい性格になった,元気に過ごすようになった,学習との両立ができるようになった,積極的になった,責任感が増した,友達が増えた,思いやりの気持ちが芽生えた,粘り強さが出てきた	病気やけがが減った,疲れにくくなった,体格が向上した,力強さが増した,足が速くなった,すばしっこさが出てきた,体が柔らかくなった
福島県	礼儀正しくなった,積極的になった,責任感が増した,思いやりの気持ちが芽生えた	病気やけがが減った,疲れにくくなった,体格が向上した,足が速くなった
茨城県	礼儀正しくなった,友達が増えた,思いやりの気持ちが芽生えた	病気やけがが減った
茨城県	元気に過ごすようになった,食事の量が増えた,友達が増えた	体格が向上した,足が速くなった,すばしっこさが出てきた
栃木県	礼儀正しくなった,責任感が増した,友達が増えた	病気やけがが減った,足が速くなった
群馬県	礼儀正しくなった,元気に過ごすようになった,自分のことができるようになった,積極的になった,責任感が増した,思いやりの気持ちが芽生えた	病気やけがが減った,力強さが増した,足が速くなった

千葉県	規則正しい生活ができるようになった, 明るい性格になった, 元気に過ごすようになった, 食事の量が増えた, 偏食が減った, 自分のことができるようになった, 学習との両立ができるようになった, 積極的になった, 責任感が増した, 友達が増えた, 思いやりの気持ちが芽生えた, 粘り強さが出てきた	病気やけがが減った, 疲れにくくなった, 体格が向上した, 力強さが増した, 足が速くなった, すばしっこさが出てきた, 体が柔らかくなった
神奈川県	礼儀正しくなった, 明るい性格になった, 元気に過ごすようになった, 食事の量が増えた, 偏食が減った, 自分のことができるようになった, 学習との両立ができるようになった, 積極的になった, 責任感が増した, 友達が増えた, 思いやりの気持ちが芽生えた, 粘り強さが出てきた, 親の言うことを聞くようになった, 家の手伝いをするようになった	病気やけがが減った, 体格が向上した, 力強さが増した, 足が速くなった, すばしっこさが出てきた, 体が柔らかくなった
石川県	礼儀正しくなった, 食事の量が増えた, 責任感が増した, 思いやりの気持ちが芽生えた, 粘り強さが出てきた	疲れにくくなった, 足が速くなった
長野県	食事の量が増えた, 友達が増えた	足が速くなった
長野県	元気に過ごすようになった, 友達が増えた, 思いやりの気持ちが芽生えた, 粘り強さが出てきた	疲れにくくなった, 力強さが増した
岐阜県	礼儀正しくなった, 規則正しい生活ができるようになった, 明るい性格になった, 元気に過ごすようになった, 食事の量が増えた, 偏食が減った, 自分のことができるようになった, 積極的になった, 責任感が増した, 友達が増えた, 粘り強さが出てきた	疲れにくくなった, 体格が向上した, 足が速くなった
静岡県	礼儀正しくなった, 明るい性格になった, 積極的になった, 友達が増えた, 思いやりの気持ちが芽生えた	体格が向上した, 力強さが増した, 足が速くなった
愛知県	礼儀正しくなった, 元気に過ごすようになった, 食事の量が増えた, 責任感が増した, 粘り強さが出てきた	病気やけがが減った, 体格が向上した, 力強さが増した
愛知県	礼儀正しくなった, 元気に過ごすようになった, 友達が増えた, 粘り強さが出てきた	病気やけがが減った, 体格が向上した
三重県	礼儀正しくなった, 友達が増えた, 思いやりの気持ちが芽生えた, 粘り強さが出てきた, 家の手伝いをするようになった	病気やけがが減った, 体格が向上した, 力強さが増した
滋賀県	礼儀正しくなった, 規則正しい生活ができるようになった, 明るい性格になった, 元気に過ごすようになった, 食事の量が増えた, 積極的になった, 責任感が増した, 友達が増えた, 思いやりの気持ちが芽生えた, 粘り強さが出てきた	体格が向上した, 力強さが増した, 足が速くなった

京都府	礼儀正しくなった,規則正しい生活ができるようになった,食事の量が増えた,思いやりの気持ちが芽生えた	力強さが増した
京都府	礼儀正しくなった,責任感が増した,友達が増えた	体格が向上した,足が速くなった
大阪府	礼儀正しくなった,自分のことができるようになった,責任感が増した,親の言うことを聞くようになった	体格が向上した
大阪府	明るい性格になった,元気に過ごすようになった,食事の量が増えた,積極的になった,友達が増えた	力強さが増した,足が速くなった,すばしっこさが出てきた
和歌山県	礼儀正しくなった,元気に過ごすようになった,積極的になった,友達が増えた	力強さが増した
岡山県	礼儀正しくなった,規則正しい生活ができるようになった,元気に過ごすようになった,食事の量が増えた,自分のことができるようになった,責任感が増した,友達が増えた,思いやりの気持ちが芽生えた,粘り強さが出てきた	疲れにくくなった,体格が向上した,力強さが増した,足が速くなった
山口県	礼儀正しくなった,規則正しい生活ができるようになった,明るい性格になった,元気に過ごすようになった,積極的になった,友達が増えた,家の手伝いをするようになった	病気やけがが減った,疲れにくくなった,体格が向上した,足が速くなった
徳島県	元気に過ごすようになった,食事の量が増えた,責任感が増した,友達が増えた	病気やけがが減った,体格が向上した
香川県	規則正しい生活ができるようになった,元気に過ごすようになった,自分のことができるようになった,友達が増えた	体格が向上した,力強さが増した,足が速くなった
愛媛県	元気に過ごすようになった,食事の量が増えた,自分のことができるようになった,積極的になった,友達が増えた,粘り強さが出てきた	病気やけがが減った,体格が向上した,力強さが増した,足が速くなった
高知県	礼儀正しくなった,自分のことができるようになった,積極的になった,責任感が増した,粘り強さが出てきた	力強さが増した,体が柔らかくなった
長崎県	食事の量が増えた,学習との両立ができるようになった,積極的になった,責任感が増した,粘り強さが出てきた,家の手伝いをするようになった	病気やけがが減った
熊本県	礼儀正しくなった,規則正しい生活ができるようになった,明るい性格になった,元気に過ごすようになった,食事の量が増えた,自分のことができるようになった,積極的になった,責任感が増した,友達が増えた,粘り強さが出てきた	病気やけがが減った,疲れにくくなった,体格が向上した,力強さが増した

大分県	規則正しい生活ができるようになった, 明るい性格になった, 元気に過ごすようになった, 学習との両立ができるようになった, 積極的になった, 責任感が増した, 粘り強さが出てきた, 親の言うことを聞くようになった, 家の手伝いをするようになった	体格が向上した, 力強さが増した, 足が速くなった, 体が柔らかくなった
鹿児島県	礼儀正しくなった, 元気に過ごすようになった, 友達が増えた, 思いやりの気持ちが芽生えた	病気やけがが減った, 力強さが増した, 体が柔らかくなった
沖縄県	礼儀正しくなった, 規則正しい生活ができるようになった, 明るい性格になった, 元気に過ごすようになった, 食事の量が増えた, 自分のことができるようになった, 学習との両立ができるようになった, 積極的になった, 責任感が増した, 友達が増えた, 思いやりの気持ちが芽生えた, 粘り強さが出てきた, 親の言うことを聞くようになった	疲れにくくなった, 体格が向上した, 力強さが増した, 足が速くなった, すばしっこさが出てきた

態度、生活面においては「礼儀正しくなった」「元気に過ごすようになった」「友達が増えた」などの項目に回答する人が多い。相手にボールをぶつけるというドッジボールの競技特性から礼儀を重んじる傾向にある。運動能力、体力面においては、「体格が向上した」「力強さが増した」という項目の回答が目立つ。

質問3 年間に家庭で負担している運営費(大会出場などに伴う遠征費を含む)の概算 1世帯平均 70 千円

団体の人数や1世帯の人数にも変動するものの、保護者会を結成している団体の運営費は保護者会を結成していない団体に比べて多い。保護者会を結成することで大会出場や遠征を行うための意思決定が積極的に行われていると推測できる。

質問4 あなたがドッジボールにかかわって良かったと思うことは何ですか。

所属都道府県	チーム保護者の回答(原文)	その他の回答
北海道	子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた	
青森県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,練習に参加して運動する機会が増えた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた	
岩手県	子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,練習に参加して運動する機会が増えた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた	
岩手県	子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,他の保護者と交流することができた	
秋田県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,練習に参加して運動する機会が増えた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた	
山形県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,練習に参加して運動する機会が増えた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた,その他	監督さんのすばらしい人柄にふれ、監督さんとのかかわりを楽しむことができた
福島県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,他の保護者と交流することができた	
茨城県	子どもと過ごす時間が増えた,練習に参加して運動する機会が増えた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた	
茨城県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもの成長を確かめることができた,他の保護者と交流することができた	
栃木県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,他の保護者と交流することができた	
群馬県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもの良さを見つけることができた,練習に参加して運動する機会が増えた,他の保護者と交流することができた	
千葉県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,練習に参加して運動する機会が増えた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた	
神奈川県	子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,他の保護者と交流することができた	
石川県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた	

長野県	子どもとの会話が増えた,子どもの良さを見つけることができた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた,その他	他のチームとの交流で輪が増えました。
長野県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,練習に参加して運動する機会が増えた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた	
岐阜県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた	
静岡県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた	
愛知県	子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた	
愛知県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,練習に参加して運動する機会が増えた	
三重県	子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,他の保護者と交流することができた	
滋賀県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,練習に参加して運動する機会が増えた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた,その他	大会参加時とともに喜び、悲しむことができた
京都府	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた	
京都府	子どもの成長を確かめることができた,他の保護者と交流することができた	
大阪府	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた,その他	泣いたり、笑ったり、怒ったり、喜んだり... 一所懸命になる気持ちを、子ども達や保護者と共有出来た事。
大阪府	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,他の保護者と交流することができた	
和歌山県	子どもの成長を確かめることができた	
岡山県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,練習に参加して運動する機会が増えた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた	
山口県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,他の保護者と交流することができた	

徳島県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,練習に参加して運動する機会が増えた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた	
香川県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,練習に参加して運動する機会が増えた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた	
愛媛県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた	
高知県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた	
長崎県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた	
熊本県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,練習に参加して運動する機会が増えた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた,その他	子供たちの交流。例えば、他チームとの交流、コミュニケーション能力を高めることができる。
大分県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた,他の保護者と交流することができた	
鹿児島県	子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,チームの運営(役員、スタッフ、審判員など)に携わり楽しむことができた	
沖縄県	子どもと過ごす時間が増えた,子どもとの会話が増えた,子どもの成長を確かめることができた,子どもの良さを見つけることができた,他の保護者と交流することができた	

子どもとの関わり合いを深くするためにドッジボールは有効であることがよく分かる。保護者も練習に加わり一緒になって体を動かし、心を通わせることができることが、他のスポーツにはない、ドッジボールの魅力であると再確認できる。また、他の保護者と交流できたという回答が全体の70%を超えている。考え方の違いに頭を悩ませながらも、意思疎通のできる保護者はいることから、連携して団体や保護者会の運営に当たっているといえる。

チーム指導者に対する調査

回答男女構成比		
男性	90.48%	38人
女性	9.52%	4人
合計	100.00%	42人

指導歴	
平均指導年数	8.83年
最長年数	20年
最短年数	1年

質問1 指導者になったきっかけは何ですか。

項目	回答数	回答割合
子どもがドッジボールをやっている	31人	55.36%
他の人に勧められて	11人	19.64%
指導者に興味があったから	6人	10.71%
自分がドッジボールの選手だったから	1人	1.79%
その他	7人	12.50%

【その他】結成時に指導者が不在のため、子どもの育成・指導に関わりたかったから、小学校教員として学級づくりのため、友人の子どもにお願いされて、前監督の後任として、創部のきっかけを作ったから、元々他のスポーツの指導を行っていたから

自分の子どもがドッジボールに所属したことをきっかけに指導者の道へ進む人が半数を超えている。指導者の年齢は40代以上が多く、選手経験のない人がほとんどのため、指導者探しに苦労しているチームが多い。

質問2 指導において日頃大切にしていることを挙げてください。

項目	回答数	回答割合
礼儀作法	32人	76.19%
チームワーク	26人	61.90%
集中力	15人	35.71%
能力向上	12人	28.57%
指導者と選手のコミュニケーション	12人	28.57%
他の指導者との連携	8人	19.05%
生活習慣	7人	16.67%
保護者との関係	7人	16.67%
戦術理解	5人	11.90%

指導の中心は、礼儀作法とチームワークが上位を占めている。チームの基盤となる態度面の指導に力を注いでいることが伺える。

質問3 キャプテンの選出方法を教えてください。

項目	回答数	回答割合
指導者の指名・推薦	22人	52.38%
選手の互選	9人	21.43%
選手・指導者	9人	21.43%
選手・指導者・保護者	2人	4.76%

キャプテンの選出にあたっては、選手の意見も反映している割合が半数近くを占めている。

質問4 チームのモットー、特徴をお書きください

所属都道府県	チーム指導者の回答(原文)
北海道	常に向上、最後まで強くなり続けること
青森県	明るく、楽しんで
岩手県	楽しむ 寄せ集めのため普段は会う事が少ない子もいる。集まった時に楽しみながらチームを作り上げていく(プレーと友好)
岩手県	チームメイトを大事に思う 個人プレーだけでは試合は成り立たないのでお互いをカバーできるように(パスの投球が曲がったらそれにうまくカバーしてキャッチ アタックされてキャッチミスがあったら床に落ちる前にカバーして他の子がキャッチするなど)
秋田県	チームワークが一番大事 練習してきたことを100%出す
山形県	まずは自分を成長させること それがチームワークにつながる 我に勝てをモットーに活動している
福島県	ドッジチーム5チームから集合している子供達ですが、日頃の交流、合同合宿等を通じてコミュニケーションもとれており、仲の良い子供達です。 ただそれゆえ、ここ一番に弱さがみえるチームです。
茨城県	練習や試合のときは全力で！休憩時間には周囲の迷惑にならない範囲で楽しく！ 大会に参加させていただいて試合間隔が空いているときには、外で鬼ごっことかもします。 所詮小学生ですから、遊ぶ時があってもよいと思い事由にさせています。 但し、他の方の迷惑にならないことを約束して私が目の届くところで監視はしていますが……。遊んだ後試合に臨みますが、だらだらした試合にならないよう、待機時間にきもちを切り替えさせるように言葉をかけています。
茨城県	とにかく元気がモットーです。 選手全員で声を出し、チーム全体を盛り上げる事を心掛けています。
栃木県	明るく元気に声を出す
群馬県	全力プレーを心がける事 全員で戦う事 厳しい練習をすれば結果は必ず出る 誰でもがんばればうまくなる
千葉県	「一勝懸命」 目の前の一勝に全力で戦う
神奈川県	一年間を通して、一回の優勝または入賞を目指して練習をしています。
石川県	ドッジボールを通じて子供たちの健全育成(あいさつ、マナー、思いやり)を実施する 「本気」でがんばることのすばらしさを感じさせる。
福井県	仲間を信じる
長野県	メンバーは2つの小学校から来ているので、仲良く元気に個々に責任を持って、全員6年生のため
長野県	1、仲間を大切に・相手の立場になって考える人になろう 2、大きな声で相手に伝わる挨拶をしよう 3、失敗は次につながるステップの素

岐阜県	個性を最大限に引き伸ばし、プレーに生かす。
静岡県	あいさつ、集中、思いやり
愛知県	あきらめずに挑戦！
三重県	「一本集中」
滋賀県	当チームは特に目立ったアタッカーも守備陣もいません しかし選手全員が日々一勝一勝を目標にし、楽しく練習をしています これからの目標は個人力のアップです 一心不乱でがんばります
京都府	親に感謝する。元氣よく挨拶。
京都府	ディフェンス重視の全員ドッジ
大阪府	・自主性をもって行動する ・合併チームのため、選手同士、選手と監督のコミュニケーションを大切にする
大阪府	ただ勝つのではなく「魅せて勝つ」。 観客を魅了してこそ、大会場でやる意味がある。 アマチュアの域を越えた、「勝ちよりも価値」を目指す、激しく、元氣で、楽しい ドッジボールを目指しています。
兵庫県	「絶対に逃げない、あきらめないドッジ」を貫く事で 選手、指導者、保護者、関わる全ての人々が成長できるチーム
奈良県	全員ドッジ
岡山県	真面目をモットーにしています。
山口県	・何事にも全力！！ ・5校の子供達が集まっていますが、みんな仲良し！！
徳島県	子供の個性を伸ばす
香川県	モットー：全てのプレーにおいて、「絶対に勝つ」気持ちを出すこと 特徴：攻撃的な試合運びだが、守備、パスからフィニッシュの攻撃につながる連動性を大切にし、常にマイペースな試合を行う。
愛媛県	「心はひとつ」の合言葉をもとにチームワークを大切にしている。 速いパスまわしでくずしてアタックする。
長崎県	礼儀正しく、自分の事は自分で行う。そして、感謝の気持ちを大事する
熊本県	“One For All” 1人はすべてのために チームワーク重視
大分県	一意専心 何事にも、一生懸命一つの事をやりとげる力をつけるようにする。
鹿児島県	礼儀
沖縄県	礼儀正しく、元氣よく

質問5 差し障りのない範囲で、練習内容を教えてください。

都道府県	チーム指導者の回答(原文)
北海道	基礎トレーニングによる体づくりが 1/3 程度 技術面では、ディフェンス強化がほとんど 攻撃練習も中ぶつけ(ディフェンス練習)と合わせて行う
青森県	ランニング、パス練習、フットワーク、キャッチ練習
岩手県	現在は3混合チームから構成しているので、各チームの練習で各自が上達してもらっている。
岩手県	ランニング・ストレッチ・ パス(ショートパスロングパス)・アタック及びキャッチ(2人1組を相手を変えローテーションする はさみドッジ(コートを半分使用で交代で全員外野内野を担当する
秋田県	パス フォーメーション アタック
山形県	練習を長くやらずに色々の内容を取りませ5分くらいの間隔で楽しくできるようにしている
福島県	全員集合しての練習は大会前に3~4回程度です。 ①基本はキャッチングで、低い構えから速いターンの繰返し ②攻撃においては残り10秒~15秒、リードしているケース、リードされているケースを徹底的に行います。集中力(攻守)を高める目的
茨城県	ウォーミングアップ、ひざつき、ターン練習、キャッチボール、キャッチ、コート半面使用した3分間の中当て、試合形式での実践練習
茨城県	準備体操の時から元気に声を出す。 声が出ていない時は、何度でもやり直す。 パスは相手の顔にめがけて投げる。 キャッチはボールを抱えた後にしっかり見る事。(ボールから目を離さない為に)
群馬県	基本中心の練習(投げる、取る、走る)
千葉県	・基礎体力作り ・キャッチ・アタック練習 ・中当て練習
神奈川県	基本練習の繰返しをしています。
石川県	・ランニング、フットワークを中心としたトレーニング ・OB,OGを交えた紅白戦
福井県	前半は下半身強化のためのトレーニング。 後半はキャッチボールから始まり、1対1・2対2での攻守練習。最後に全体での中当て。
長野県	・キャッチング(手を握ってのキャッチ) ・ランニングアタックのくりかえし ・フォーメーション

長野県	<p>◎2時間から5時間の練習を週3日、月に2回程度その他チームとの練習試合を行っています。</p> <p>練習内容</p> <p>1、基礎練習1…ストレッチ・体力作り(1時間)</p> <p>2、基礎練習2…基本的なパス・キャッチ・ディフェンス動作(1時間)</p> <p>3、応用練習…コート上での動きの確認・修正(1時間)</p> <p>4、試合形式…内外野に分かれての試合(1時間)</p>
岐阜県	基本中心
静岡県	ランニング キャッチボール 守備練習
愛知県	練習時間の8割が守りの練習です
三重県	平日練習では守備中心、土曜日練習では基礎体力づくりを中心に行っています。
滋賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・試合、練習試合などで学んだ今できる事 ・昨日できなかった事を徹底的にやる。出来るまでやる。明日に持ち越さない。出来た事を徹底的に復習する ・試合一つ一つ内容が違うように練習内容も毎回違う。その子に必要な事をする。決して難しい作戦や戦略を練習ではしない。
京都府	基礎体力作りを重視しているため、1時間以上要します。パス練習もハンドキャッチを重視していますので、課題を設け達成できるまで続けます。アタック練習は二人ひと組となり、走り込ませでのランニングアタックをする者とレシーブをする者の練習になる。
京都府	ランニング、パス、アタック、キャッチ、
大阪府	・合併チームのため、練習は難しく、交流試合の中で練習をしている
大阪府	言葉では伝えきれないので、一度見に来てください。 日本各地からチームが集まっています。
兵庫県	ストレッチ、ランニング、サーキットトレーニングによる基礎体力の向上を目指しています。 ボールを使った練習はパスやキャッチングの基礎練習を中心に、ゲームやゲーム形式の練習もいろいろな形式で行っています。
奈良県	鬼ごっこをしています。
岡山県	走る事を2時間～3時間やっています。
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・基本(パス・キャッチング) ・コートの中の半分を使つての試合形式
徳島県	基礎体力作り フォーム修正(成長期に合わせた)
香川県	特筆すべきものはないが、大半を守備練習に費やしている。 大人はボールを投げず、選手同士またはOBのボールをキャッチするようにしている。

愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニング ・柔軟・体力づくり ・構え ・フォーメーションの確認 ・パス・キャッチ ・コート練習 ・試合形式の練習
高知県	私自身が野球出身なのでアップ、投球、守備、全て応用工夫をし基本から習得する様指導、基本ができる様になれば体のケアをしながらレベルをアップさせています。
長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ①ストレッチ ②体力強化 ③パス練習 ④フォーメーション
熊本県	準備運動→ランニング→ゲーム(ポートボール、キックベース他)→インターバル→キャッチ(2人組)→キャッチ(1対1)→フォーメーション→ミニゲーム→クールダウン
大分県	<ul style="list-style-type: none"> 基礎体力 キャッチボール フットワーク(ラダー等) 守備練習
鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> 体力作り(縄跳び) スピードアップ(バックダッシュ)

様々な練習メニューが挙げたが、基礎を重要視していることが分かる。小学生という発育過程にある選手にとっての基礎トレーニングは、怪我の防止や青年期の運動能力に大きく効果を発揮すると考えられる。一方で、基礎トレーニングは単調で達成感を得られにくいものであることから、選手に対してどのような動機づけを行うか、指導者の指導能力が問われる部分である。

質問6 練習時間を教えてください。

	1回当たりの平均練習時間	2.94 時間
月	9	21.43%
火	13	30.95%
水	16	38.10%
木	12	28.57%
金	10	23.81%
土	29	69.05%
日	22	52.38%
祝日	4	9.52%

練習は週末が多く、1回当たりの平均時間は約3時間。練習場所の確保や指導者の仕事の都合も影響していると考えられる。その中、週末に次いで水曜日が練習日として多いのは、水曜日に残業をさせない企業が増えてきていることも背景として考えられる。

質問7 練習内容はだれが決めますか。

指導者	29	69.05%
指導者・選手	11	26.19%
指導者・保護者	1	2.38%
無回答	1	2.38%

練習内容の組み立てには指導者だけでなく、選手自身の意見も取り入れている指導者が全体の4分の1以上いる。選手自身はその時の実力を理解するという点で効果的と考える。

質問8 他のチームの指導者と、練習や作戦などについて情報交換をすることはありますか。

無	9.52%
有	90.48%

⇒

練習方法・内容(複数回答)	71.05%
チームの運営について	36.84%
他チームの情報	28.95%
大会情報	55.26%
指導上の悩み	52.63%
作戦・戦術	28.95%

情報交換の中心は、練習方法・内容の他、大会情報、指導上の悩みが上位を占める。協会の情報提供や交流の機会提供が強く求められる。

質問9 指導者になって満足するのはどんなときですか。(複数回答)

項目	回答数	回答割合
内容のよい試合ができたとき	33人	78.57%
試合で選手が主体的に動いてくれたとき	31人	73.81%
選手と意思の疎通が図れたとき	23人	54.76%
試合に勝ったとき	13人	30.95%
作戦や戦術が成功したとき	9人	21.43%
試合で選手が思い通りに動いたとき	6人	14.29%
保護者から認められたとき	2人	4.76%
他の指導者から賞賛を受けたとき	1人	2.38%

質問10 指導者として難しさを感じるのはどのようなときですか。(複数回答)

項目	回答数	回答割合
内容のよい試合ができないとき	29人	69.05%
選手と意思の疎通が図れないとき	27人	64.29%
試合で選手が主体的に動いてくれないとき	26人	61.90%
保護者とのトラブルが起こったとき	17人	40.48%
試合で勝てないとき	8人	19.05%
試合で選手が思い通りに動いてくれないとき	8人	19.05%
作戦や戦術が失敗したとき	4人	9.52%

指導者は選手に対して、主体性を求めている。そのために選手との意思の疎通を図ろうと努めていることが分かる。試合の勝敗だけでなく、内容の充実を期待している。保護者から評価を受けることについては重要視していないものの、保護者間のトラブルには頭を悩ませているようだ。

体力テストの集計結果

比較データ 体力・運動能力調査(政府統計の総合窓口 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> より引用)

男子

	6 年 生				5 年 生			
	JDBA平均	運動部・スポーツクラブに所属している	1日に2時間以上運動をしている	全国平均	JDBA平均	運動部・スポーツクラブに所属している	1日に2時間以上運動をしている	全国平均
50m走 (秒)	8.31	8.71	8.63	8.82	8.64	9.12	8.98	9.24
ソフトボール投げ (m)	40.19	32.15	34.37	30.78	33.02	27.46	29.82	25.97
反復横とび (点)	50.18	47.48	47.93	46.56	45.37	43.71	44.42	42.68
20mシャトルラン (折り返し数)	84.44	68.89	72.38	64.31	74.60	57.39	62.23	53.48
立ち幅跳び (cm)	179.68	169.30	170.88	167.27	160.63	158.12	161.00	155.79
上体起こし (cm)	26.30	23.06	23.68	22.12	24.91	20.77	21.95	19.99
握力 (kg)	22.53	20.53	20.72	20.30	19.08	17.52	17.71	17.19
長座体前屈 (cm)	41.91	35.97	36.17	35.31	32.65	33.40	34.10	33.00

女子

	6 年 生				5 年 生			
	JDBA平均	運動部・スポーツクラブに所属している	1日に2時間以上運動をしている	全国平均	JDBA平均	運動部・スポーツクラブに所属している	1日に2時間以上運動をしている	全国平均
50m走 (秒)	8.63	8.96	8.89	9.17	8.82	9.36	9.25	9.52
ソフトボール投げ (m)	33.49	19.47	21.20	17.45	22.20	16.32	17.88	15.00
反復横とび (点)	47.13	44.77	45.88	43.25	45.56	41.54	42.71	40.15
20mシャトルラン (折り返し数)	73.71	56.52	60.83	48.37	65.58	47.05	50.96	41.36
立ち幅跳び (cm)	163.05	161.09	163.67	155.34	154.71	151.09	153.13	146.34
上体起こし (cm)	24.88	21.31	22.49	19.46	23.86	19.97	21.07	18.41
握力 (kg)	20.71	20.12	20.18	19.66	19.54	17.31	17.69	16.98
長座体前屈 (cm)	36.84	40.81	41.41	39.66	35.77	37.90	37.76	36.93

一部の項目を除いては、全国大会出場をしたドッジボール選手の運動能力は他に比べ、優れていることが分かる。特にソフトボール投げや20mシャトルランでは能力が突出しており、速い球を投げる能力と5分間の中で低い姿勢を保持しながら動き続けるという現在のドッジボールの競技特性が数値化されている。

ドッジボールの大会において、6年生の投げる速い球を小さな女の子がキャッチする場面を頻繁に見かけるが、5年生女子の反復横とびのデータを男子と比較してみると、女子の方が優れていることが分かる。スーパーキャッチは素早いフットワークによって生み出されているといえる。

小学生選手に対する調査

質問1 ドッジボールを始めようと思ったきっかけ

	チラシ	友達	きょうだい	先生	運動好き	楽しい	他のスポーツをやめた
全体	45	164	113	21	111	113	3
	13.6%	49.5%	34.1%	6.3%	33.5%	34.1%	0.9%
男子	29	111	56	10	65	73	2
	13.6%	52.1%	26.3%	4.7%	30.5%	34.3%	0.9%
女子	16	53	57	11	46	40	1
	13.6%	44.9%	48.3%	9.3%	39.0%	33.9%	0.8%

ドッジボールを始めたきっかけの約半数は、友達に誘われたり、友達の影響を受けたりしたことによる。チームづくり、普及を進める上で身近な友達を誘い込むことは重要である。

質問2 ドッジボールが楽しいと思う瞬間は、いつですか。

	アタック	キャッチ	作戦	試合に勝った	ほめられた	遠征・合宿	話す・遊ぶ
全体	204	281	81	281	179	124	118
	63.35%	87.27%	25.16%	87.27%	55.59%	38.51%	36.65%
男子	141	185	48	182	106	76	66
	64.98%	85.25%	22.12%	83.87%	48.85%	35.02%	30.41%
女子	63	96	33	99	73	48	52
	60.00%	91.43%	31.43%	94.29%	69.52%	45.71%	49.52%

ドッジボールの楽しさは、ゲーム中にボールをキャッチできた時に最も強く感じる。競技の特性を反映しているといえる。また、「試合に勝ったとき」の割合が高く、選手は勝敗にもこだわっていることが分かる。

質問3 ドッジボールを始めて変わったこと

全体	友達が 増えた	足が 速く	元気に 過ごす	力強さが 増した	食事の 量	礼儀 正しく	積極的
	247	212	196	173	155	147	142
	79.90%	68.60%	63.40%	56.00%	50.20%	47.60%	46.00%
男子	友達が 増えた	足が 速く	元気に 過ごす	力強さが 増した	礼儀 正しく	食事の 量	積極的
	165	147	129	116	111	107	94
	80.50%	71.70%	62.90%	56.60%	54.10%	52.20%	45.90%
女子	友達が 増えた	元気に 過ごす	足が 速く	力強さが 増した	粘り 強さ	責任感	食事の 量
	82	67	65	57	54	49	48
	78.80%	64.40%	62.50%	54.80%	51.90%	47.10%	46.20%

全体	責任感	粘り 強さ	体格が 向上	明るい 性格	自分の こと	すばし っこさ	思い やり
	140	138	137	136	122	113	112
	45.30%	44.70%	44.30%	44.00%	39.50%	36.60%	36.20%
男子	体格が 向上	明るい 性格	責任感	自分の こと	粘り 強さ	思い やり	すばし っこさ
	93	93	91	91	84	83	79
	45.40%	45.40%	44.40%	44.40%	41.00%	40.50%	38.50%
女子	積極的	体格が 向上	明るい 性格	礼儀 正しく	病気や けが	疲れ にくく	すばし っこさ
	48	44	43	36	35	34	34
	46.20%	42.30%	41.30%	34.60%	33.70%	32.70%	32.70%

全体	病気や けが	学習と の両立	疲れ にくく	家の 手伝い	規則 正しい	体が柔 らかく	偏食が 減った	親の言 うこと
	105	97	93	78	76	74	58	47
	34.00%	31.40%	30.10%	25.20%	24.60%	23.90%	18.80%	15.20%
男子	病気や けが	学習と の両立	規則 正しい	家の 手伝い	疲れ にくく	体が柔 らかく	偏食が 減った	親の言 うこと
	70	70	64	62	59	56	44	37
	34.10%	34.10%	31.20%	30.20%	28.80%	27.30%	21.50%	18.00%
女子	自分の こと	思い やり	学習と の両立	体が柔 らかく	家の 手伝い	偏食が 減った	規則 正しい	親の言 うこと
	31	29	27	18	16	14	12	10
	29.80%	27.90%	26.00%	17.30%	15.40%	13.50%	11.50%	9.60%

上位は男女とも、「友達が増えた」、「元気に過ごせるようになった」、「足が速くなった」である。このほか、男子は、「礼儀正しくなった」が、女子は「粘り強さがついた」の割合が高い。

総括

「ドッジボールが普及し、社会に定着するために」

本調査では、チームの代表者、指導者、保護者、選手に対して、それぞれの立場における現状や課題を調査した。このような大規模な調査は協会設立20年の歴史で初めての試みであり、実態を把握する上で貴重な資料となり得る。

この調査を通じて明らかになった点を整理して述べたい。

1 「スポーツとしてのドッジボール」の意識が非常に高い。

ドッジボールは遊びやレクリエーションという枠組でとらえられることが多い。しかし、本調査に回答したチームは、各地区の代表として全国大会に出場し、ドッジボールをスポーツとして強く意識していることが分かった。そして、指導に当たっては、勝敗だけではなく、社会性を養うことも大切にしていることが明らかになった。社会全体がスポーツに対して、礼儀や基本的な生活習慣、社会性等を期待しているのと同様に、指導者はドッジボールを通してそれらを身に付けさせたいという思いを強く抱いていると言える。

一方で、大会や指導技術などの情報が不足しており、これらの問題を指導者間で補おうとする姿勢が非常に高いことが特徴と言えるだろう。

2 運動能力が極めて高い。

本調査では、全国大会出場チームに所属する選手全員の運動能力について、文部科学省が実施した「新体力テスト」に準拠して調査を行った。

その結果から、いずれの学年でも全国平均を上回っていることが分かった。さらに、20m シャトルランとソフトボール投げ、反復横跳びの3種目で、全国平均を大きく上回っていることが明らかになった。持久力、敏捷性、投能力が特に優れていることが伺える。今後は調査範囲を広げ、さらに詳細なデータを収集することにより、ドッジボールの運動特性などを明らかにすることができると考える。

3 基本を大切にした練習メニュー

練習の中心がランニングやストレッチ、キャッチボールなどの基本動作が多い。また、守備練習を重視しているチームが多い。これらの結果は、チームづくりやレベルアップを図る上で、他のチームも参考にすべきだろう。その一方で、ドッジボールにおける技術論・トレーニング論が依然十分に成熟していないことを示した結果とも言える。

4 厳しいチーム運営状況

ドッジボールはボール一つでいつでもどこでも始められる、というイメージがあることから、気軽さを求める保護者が多いのも事実である。しかし、用具代や遠征費用などがかさみ、負担感を感じている保護者の割合が多いことが分かった。また、チーム運営費を世帯数で割った1世帯当たりの負担額平均は、年間5万円余と決して安価ではない。大会機会が少なく、県外遠征が他競技に比べ多いことも影響していると考えられる。

これらを踏まえ、さらなる普及と社会における定着に向けての課題を述べたい。

「レクリエーションと競技スポーツ、2つのカテゴリーを維持する」

協会設立20年を経て、競技スポーツとしてのドッジボールが確立しつつある。その一方で、学校や幼稚園、地域などにおけるレクリエーションドッジボールも存在し続けている。この2つはルールやレギュレーション、スキルが大きく異なることから、混在させることは困難である。したがって、レクリエーションと競技スポーツ、2つのカテゴリーを設け、それぞれの特徴を出した普及活動を展開することが求められる。

「ドッジボールのもつ特性を十分に伝える努力と工夫をする」

普及活動を展開するにあたっては、手軽に始められることはもちろん、技能習得が比較的容易であること、チームプレイの特徴等も十分に伝えることが望ましい。幼児から高齢者まで幅広い年代でプレイが可能であることを強調するために、ルールを簡素化したりボール等の用具を扱いやすいものに改良したりすることも必要である。

一般財団法人 日本ドッジボール協会
理事長 京極 努

調査研究特別チーム

京極 努

城門 政文

山田 孝

中野 誠司

本田 頼徳

青木 通夫

根本 公夫

仲谷 智子

発行者 一般財団法人日本ドッジボール協会
調査研究特別チーム
調査責任者 京極 努
協会所在地 東京都港区虎ノ門5-11-13
虎ノ門 RICHビル8F
TEL 03-5776-1830
FAX 03-5776-1840